

vol.

02

2025
twice a year

Take
Free

Awesome Life style Media

Shiwakudo

Scope

Focus Theme //

性能も諦めない古民家リノベ。

しわく堂は、“あったらいいな”を着眼点に、暮らしにまつわるすべてのデザインを手がける、暮らしづくりカンパニーです。

Scopeは、しわく堂がこれまで手がけた個性豊かな住まいの“Awesome”な暮らしぶりを覗き見る、タブロイド型ライフスタイルメディアです。

十人十色。自分らしさ満載の多様で瑞々しい暮らしをおくる住まい手の日常にはきっと、みなさんが暮らしを楽しむアイデアやヒントに出逢えるはず。

さあ、見てみよう。身近に潜む“Awesome”な日常を。

Love the life you live. Live the life you love.

shiwakudo.com

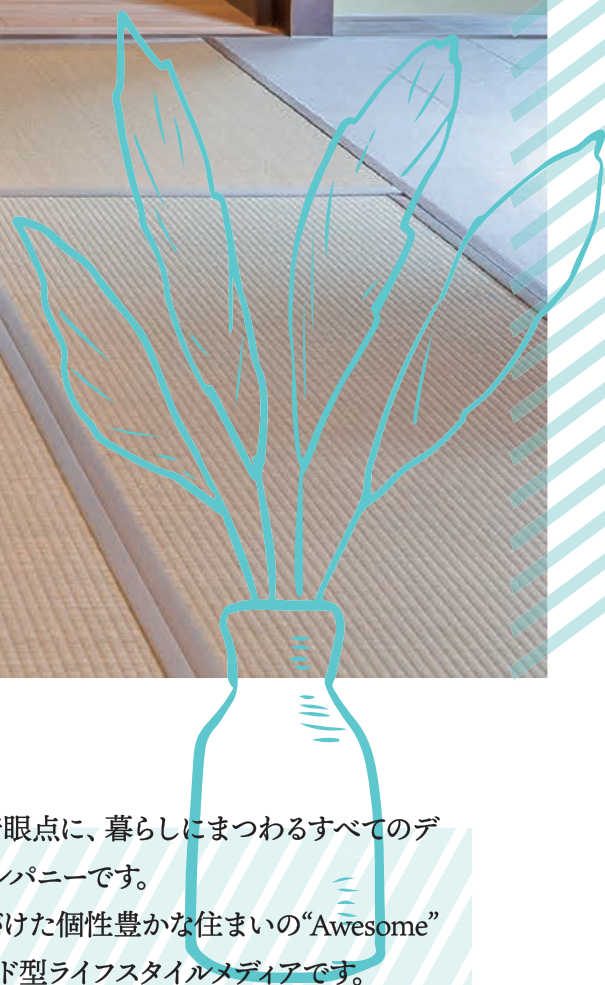
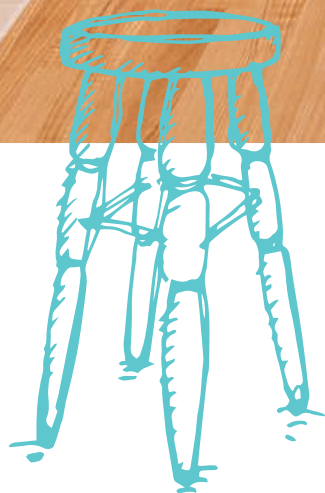


HP

暮らしづくりカンパニー



Shiwakudo





歴史ある街並みの一角から始まる新たなドラマ



開発が進む香川県高松市の郊外エリアの中でも、昔と変わらない田園風景や伝統的なやつおの家が残る金毘羅街道沿いに、角田さんの住まいはあります。角田さんご主人と、主に在宅ワークで働く奥さん、育ち盛りで元気いっぱいの息子さんが暮らしています。角田さんの実家も立派なやつお

の家。しかし昔ながらの伝統的な間取りでは、収納面や動線など現在の生活スタイルとズレが生じていました。そこで耐震面もしっかりチェックしながら、大胆なリノベーションを検討。大きな食卓を囲んで団楽を楽しめる、そんなLDKを中心に各部屋の計画を膨らませていきました。

集って囲んで賑わう団楽



おこもり書斎で集中ワーク



フリーランスとして働く奥様は、在宅ワークが主なお仕事。子育てと仕事が両立できるように、奥様の書斎を確保しました。元々玄関だった段差を利用した掘り炬燵や畳の部屋に、ポップな色や北欧をミックス。ゆったり腰掛けると、外からの光が気持ちよく差し込みます。

キッチン是一緒に料理をするご夫婦が並べるよう、広めの通路で設計。両側から作業したり、大人数で囲むことも可能。頭上にはスタンドグラスのペンダントライトが輝きます。奥には台所と書斎を区切る磨りガラスが。家のあちこちにしながら、お互いの気配を感じることができます。

しわく堂だからできるリノベーション

物件探しからお手伝い。

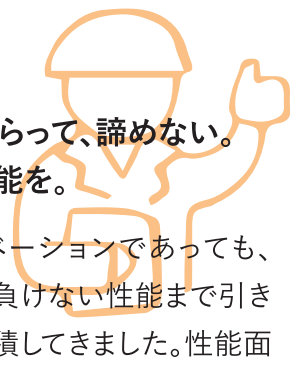
コスト、改修できる間取り、耐震...リノベーション用の中古住宅探しは、なかなか難しいもの。物件探しからのサポート実績が豊富なしわく堂だから、あなたの理想的な暮らしにぴったりな物件を一緒にお探しします。

リノベーションだからって、諦めない。新築に負けない性能を。

しわく堂では、リノベーションであっても、耐震・断熱を新築に負けない性能まで引き上げるノウハウを蓄積してきました。性能面も諦めない住まいづくりを。

住まいづくりは資金計画から。賢くコスパのいい方法を提案。

中古住宅は新築住宅と比較して、毎年支払う固定資産税が低く、ランニングコストがお得です。また補助制度も充実しているので、新築よりお得に住まいづくりできる場合が多いです。



暮らしながらできる耐震補強

生活への負担を抑えつつ、地震に備える

📍 香川県三豊市

🏠 個人邸 | 木造二階建

南海トラフの巨大地震に備える

地震大国ニッポン。

近年頻発している大地震によって倒壊した住宅の被災状況は、私たちの記憶に新しく、震災の恐ろしさを伝えています。しかし耐震への関心が一方で、耐震対策については補強工事が生活へかける負担の大きさがネックとなっています。施工計画によっては工事が完成するまでの間、引越しを余儀なくされる場合があります。

耐震補強工事にまつわる生活への負担を如何に軽減しながら耐震補強を実現するかが、今回の大きなテーマでした。



自慢の瓦屋根。
重たいけど、残したい



今回耐震補強を実施したのは、重層的に連なる瓦屋根が特徴的な、十鳥さんの住まい。耐震対策の1つに、重たい瓦屋根をガルバリウムなどの軽い屋根に葺きかえる「軽量化」などがありますが、自身がこだわって新築をしたこともあり、愛着のある屋根を残すことを決断。外壁からの耐震補強に重点を置いて進めていきました。



引っ越したくないけど、
補強はしたい

▲外壁側から補強(左)し、
既存と同じ焼杉で仕上げる(右)

ご夫婦の要望は、普段使う部屋の生活動線を確保して、暮らしながら耐震補強したいというもの。そこで、1階は外壁側から工事することで、室内に触れることなく、耐震の基準値を満たすことができました。普段使わない2階は内壁を工事することで自慢の瓦屋根の形をそのまま残すよう計画。工事箇所や施工順序を工夫することで暮らしながら耐震補強することもできるのです。

コストを抑えて、負荷を減らす



耐震の壁補強において、従来の工法では、既存の壁を壊したり天井や床を解体する必要性がありました。この方法では、当然床や天井の解体修復費用がかかります。そこで2階は天井や床を壊さない低コスト工法を採用しました。必要な箇所を必要な分だけ解体し補強することで、コストだけでなく、工期も短縮し、効率よく地震の負荷を減らすことができます。

無料相談できます！

しわく堂公式LINEアカウントができました！

耐震だけでなく、断熱・気密や新築・リノベーションなど、住まいに関するお悩みを気軽に相談できます。ご質問にしわく堂スタッフが回答いたします。

しわく堂
公式LINE



店舗併用住宅の増築アップデート



町の喧騒から離れた山の上にある小さな整骨院を営む秋山さんご夫婦。秋山さんが生まれ育った実家の隣地に地元の大工さんの手を借りて整骨院を開業したのは14年前。10年住んだ住宅は、愛着もひとしおながら、家族の暮らし方にフィットしない部分が明確に見えていました。診療室を増

設するタイミングで、将来的には現在ご両親が住んでいる実家の管理も念頭に置きながら、必要最低限の増築を決定。地元の大工さんが建てた既存の素材と揃えながら、珪藻土の壁やシナの天井などの自然素材で仕上げました。曲線を描く杉板の壁は、リビングを広く感じさせる工夫です。

家族も友人も「自由に集う」



家族の空間の中心にあるのは山型に作ったオリジナルのダイニングと一体型のキッチン。家事をする奥様の側でむっちゃんが宿題をしたり、玄関から入ってきたお客様は靴を脱がずそのままお茶をして帰ったり。

ライフステージに合わせて変容する居室



部屋の機能自体もライフステージに合わせて変化できるようにデザイン。家族の寝室はリビングから玄関の土間をはさんだ和室を利用しています。子どもが巣立った後には客間として利用することも想定しています。

あなたのためだけのリトリート空間



店舗側では安心してカウンセリングや施術を受けられるプライベートな施術室を増設。間接照明やシアーカーテンへの反射を利用した柔らかな照明計画でリラックスできる空間に。助成金を利用しながら、断熱も施し快適性はもちろん省エネ性もアップさせました。

店舗入口も以前の外観(左)からイメージチェンジ(右)



新しい自分に出会える透明感のある美容室



長年、美容師として活躍してきたオーナーである石川さんが、独立を基に構えたヘアサロン"roca"。丸亀城の東に位置し、4軒のお店が一棟に納まる、郊外型のテナントの一画にあります。過度な装飾は一切なく、洗練された美しさと新しさが調和。ゆらゆらと揺れ動くカーテンに、ふわふわと浮遊するペンダントライト、柔らかく漏れ出す自然光が、想像を掻き立ててくれます。

柔らかく繋がる伸びやかな空間

床やスタイリングチェアなどは、グレーを基調とし、浮遊感のある空間をぐっと引き締め、落ち着きを与えます。シャンプースペースの床や家具は暖色でまとめ、マッサージなどリラックスして過ごすことができる空間に仕上げました。カットスペースとの間には壁はなく、カーテンで柔らかく空間を仕切ることができます。一体にもできることで空間は広く明るく伸びやかに。



ご夫婦の好きな黄色のタイルのカウンター。飾られるアートやトイレサイン、オリジナルに造作した木の鏡スタンドなど、イエローベースのアクセントがあちこちに散りばめられています。

細部に光るアクセントたち



店内のあちこちに配された植物は、空間に生き生きとした個性と彩りを与えてくれます。センス光るユニークな花瓶たちは、奥様がセレクト。通うたび、ご夫婦の好みや季節の移ろいを感じられます。

リノベーションオブザイヤー2024

地域資産を、住み継ぐ。

山口県光市

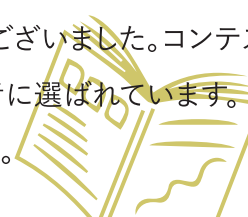
個人邸 | 木造二階建

ローカルヘリテージ・リノベーション賞を受賞



リノベーションの魅力や可能性を広く発信するためのアワード「リノベーション・オブ・ザ・イヤー2024」。第12回目となるこのコンテストには毎年全国から応募があります。しわく堂が応募した「地域資産を、住み継ぐ。」は、文化財価値の保存と活用の両立に重点を置いた作品です。い

いね投票で599票いただき、一次選考を通過。そして最終選考にて特別賞を受賞しました。みなさま、温かい応援ありがとうございました。コンテストには226点の応募があり、21点の作品が最終選考に選ばれています。ぜひ公式サイトにて気鋭の作品集をご覧ください。



審査員 高山都氏
による講評

過程も地域に公開しながら、ウィークポイントを上手に未来へのバトンへ変換し、安全に確実に渡せるようになったこの家は、きっとこの先また長い年月で、住みながら世代を交代していき、大切に繋いで歴史を住み紡いでいくのだろう、そんな未来が見えた気がしました。



Event おむすび座、缶バッジ企画やっています。

しわく堂が運営する、「寝転がれるお座敷buffe おむすび座」にて、オリジナル缶バッジづくり企画を開催中。好きなお写真やイラストがあつという間に缶バッジに変身!昨年7月から始まったこの企画、おかげさまで延べ260名様にご参加いただきました。ランチご利用でどなたでもご参加いただけます。所要時間は約5分ほど。気軽に遊びに来てくださいね♪



*缶バッジ企画は平日限定
*おひとり様1つまで

寝転がれるお座敷buffe おむすび座

(休) 火曜 (営) 11:00~16:00

〒769-1501 香川県豊中町比地大1680-4

▼ 詳細はインスタにてご確認ください。
@omusubi_za



しわく堂だからできる幅広いプロジェクト。



House

丸亀城を見通す極上の野良暮らし Glam.nora

「新しい住まいには家族がゆったりと過ごせる広々としたリビングとバーベキューができるウッドデッキがほしい。」

そんな夢を話してくれた施主様。リビングをため池とお城を望める北側に配置し、ウッドデッキへのアクセスも考慮。

借景を利用し、ナカからソトを緩く繋ぐことで、快適な室内にしながら、どこまでも開放的に広がる湖畔暮らしを実現しました。家族みんなで塗装やタイル貼りなどDIYにも挑戦し、より愛着ある住まいが完成。



日常にバスケットを!

バスケットコート クリエイティブディレクション

プロジェクトオーナーはバスケットボールFIBAワールドカップ試合球をはじめ、各競技用ボール等を世界中に展開している株式会社モルテン様。「バスケットに触れる機会が少なくなった子ども達にバスケットの楽しさを提供したい」

そのような想いから2024年1月から香川県三豊市にて、バスケットコートを作るプロジェクトが始まりました。しわく堂は候補地の選定、初期段階のデザイン、垂れ幕や看板のデザイン、データ分析など日常の中でバスケットが楽しめる環境を整備しました。

遊びにきてね!

for Business



Branding



天然氷のかき氷専門店

日香 トッピングメニュー表

「もっとトッピングを楽しんでもらいたい」
夏季限定でOPENするかき氷専門店「日香」。8種類のメニューに加え、2種類のトッピングが揃い、よりアレンジを楽しめます。しかし、トッピングでの注文に伸び悩んでいた店主。そこでトッピングのイラスト図とメニュー表を作成。設置後はトッピングでの注文が増え、毎回トッピングの案内を行っていたスタッフの負担も軽減しました。日香の楽しみ方は、広がっていきます。



続々と

Newプロジェクト進行中...

くだものと野菜の小さな加工場
白井の実ファーム Sweety Plant

卵農家のエシカルな
プライベートブランドストア
Danran Store



Mitoyo



Miki



Kanonji



Mitoyo

モルテン
バスケットコート

日常にバスケを!!



Marugame

甘い宝石箱
Pâtisserie Ciel

田んぼの中のお豆腐スタンド
とうふのお店 カンショク

New Topics



社員インタビュー
公開中



しわく堂で働きませんか？

この度、事業拡大に伴い、一緒に働いてくれる仲間を募集します！

しわく堂は、三豊市にある設計事務所です。新築住宅やリノベーション、店舗などの設計業務はもちろん、WEB制作、商品企画などお客様のニーズに合わせて、トータル的なサポートができるのが強みです。クライアントも県内を中心に北海道から沖縄までと様々。

時短勤務やダブルワークなど、あなたのライフスタイルに合わせて自由な働き方を選択できます。まずはお気軽にお問合せください。

おむすび座スタッフも募集中！

しわく堂が手がけた「寝転がれるお座敷buffet おむすび座」のスタッフを募集中です。明るく元気な学生さんや主婦の方、一緒に働きませんか？

ご家庭での調理経験があればすぐに覚えられる仕事内容です。

詳しくは
こちら



瀬戸内
の
暮らし
の
大学

Shiwakudo



株式会社しわく堂

おむすび座
OMSUBIZA

一級建築士事務所

香川県三豊市豊中町比地大1680-4

TEL:0875-23-6535 FAX:0875-23-6536

mail:info@shiwakudo.com